

「緑会の名前の由来」

「名古屋工業大学八十年史」からの抜粋です。

当初、色染科（名古屋高等工業学校が明治38年3月に開設されるとともに設置）の卒業生で組織されていた同窓会は、「D・D（染料・染色の英語の頭文字）倶楽部」と呼ばれていた。その後、昭和9年に会の名称は、「名染（名高工色染科）会」と改称された。昭和16年に色染科は工業化学科と発展的に改組され（おそらく昭和19年に化学工業科に改組の間違い？）、その頃から科旗（下図）の地色と、自然界の活動のシンボルカラーが緑色であったこともあって、会は「緑会」と改称された。

